

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	湯沢市	代表者名	湯沢市長 佐藤一夫
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	ふるさと未来創造部情報政策課元氣・魅力発信班
担当者役職	主事	担当者氏名	梅川 暖
住所	O12-8501 秋田県湯沢市佐竹町1-1		
連絡先電話番号	0183-56-8387		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	湯沢の魅力情報発信事業
概要	庁内における情報発信に対する意識改革を行う。具体的には市公式SNS(LINE、Facebook、X)での情報発信について、各SNSの特性に応じた発信の仕方、多媒体(広報紙やホームページ)との連携のあり方等を知ることによって、情報を発信して終わりではなく必要な人に確実に届けるためのマインドを醸成する。		
支援を求める分野	ICT活用広報		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	205	令和6年10月11日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月3日	支援・助言(実地)	9時00分	16時30分	75
				活動時間(分)	375
2-2. 派遣場所	会場名	湯沢市役所	最寄駅	湯沢駅	
	所在地	秋田県湯沢市佐竹町1-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講義とグループワークを行っていただいたが、聞くだけの一方的なインプット的な内容ではなく、参加者側もよく理解し、他社に伝わるよう考えながら取り組まなければいけない内容だったため、より理解を深めることのできる研修会になった。タイトルは「SNSを活用した情報発信研修会」というものだったが、SNSの活用方法だけでなく、市として今後、どのようなPR事業を考える機会になり、参加者の業務のモチベーションアップにもつながったのではないかと感じる。講義終了後にも、講師に質問をする参加者が何人もいたため、非常に学びが多い有意義な研修になった。
アドバイザーへの要望事項	また機会があったら、ぜひご指導いただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	14人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員		
	住民		
	人数	14	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	現在、市のDX推進計画において、「人のつながり」を基盤と位置づけ、まずは市役所からの情報発信力を強化し、次に市民が市役所に簡単に意見を伝えられる環境づくりに取り組み、将来的には、デジタルを通じて、距離や雪の障壁を越える全く新しい市民同士のつながりの創出を目指している。現状、LINEやFacebook、Xなどを活用した情報発信を行っているが、職員によってはデジタルに苦手意識があることから、広報紙やホームページと同じような内容での発信にとどまっております、届けるべき相手を見据えた情報発信とはなっていない。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	デジタルを通じて、距離や雪の障壁を越える全く新しい市民同士のつながりの創出を目指しているため、広報紙やホームページ、各SNSでの情報発信の手法の違いを理解し、情報を発信して終わりという意識から市民に届けるという意識に変革する必要がある。市民に届けるという意識を持つことで、市の取り組みの浸透やサービスの確実な提供に結びつける。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	最初に「支援・助言」、次に「講義」という流れだった。「支援・助言」では、市が情報発信（広報やSNS等）で課題に感じている事柄に対し、問題の改善につなげる手段や方法、アプローチの仕方をアドバイスいただいた。講義では、前半が概論、後半がグループワークだった。概論は他自治体の取り組みを参考に情報発信の考え方をお聞きした。グループワークでは、概論の内容を参考に、実際にターゲットを決め、どのような事業をどの方法で発信していくかという内容で取り組んだ。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	これまで、とにかく広く情報発信すればよいという手法であったが、ターゲットの属性を把握し、内容やターゲット層に合わせた情報を、順序だてて発信していく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	SNSに苦手意識を持っている管理職対象の研修を行いたいが、研修の内容上長時間にわたるものであるため、管理職が参加しづらい。次回があれば、時間を短縮するか日程を分けるか等で対応できたらと思う。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 出席者が少なかつたため、終了後に個々に感想を聞き取りした。情性で発信するのではなく、受け取る側の属性などを考える事の重要性を感じた出席者が多かつた。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	現在は広報で発信しておけばそれだけでよいという考え方が蔓延しているため、職員のSNSの苦手意識を減らし、より市民目線の情報発信をする。また、LINEのセグメント配信等は開始しているが、対象を絞らず発信している部署が見受けられており、ブロック数が増加傾向にあるため、今回の研修を活かしてターゲット層を絞った発信をすることにより、情報発信の質を高めていきたい。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	広報紙での情報発信中心から、苦手意識を減らして市公式SNSを活用した情報発信が中心になるよう、職員全体の意識を変える。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

